



バスケットボール部

■ 1923年(大正12年)公認

部員数

74名



部長
藤田 誠
商学学術院
教授

男子部については、関東2部リーグから1部リーグ復帰の年に優勝を果たしたうえでインカレでも準優勝とまさに飛躍の勢いであった。来年度も、今年度の勢いを継続させることを期待するところ大である。女子部は、関東リーグでは思ったような戦績を残せなかったが、インカレではベスト4に入り立派な締めくくりであったといえる。男子部、女子部ともに、来年度も監督・コーチのご指導およびRDR倶楽部(バスケットボール部顧問会)の諸先輩方のご支援と激励を受けながら、引き続き鍛錬に励み、より良い成果を上げることを期待したい。



監督
北郷 慎太郎

今年度は57年ぶりの関東リーグ優勝、インカレ準優勝と、飛躍の一年となった。長身の留学生を主体に堅実なディフェンスと確率の高いゴール下の得点によるチーム作りを進める学校が多い中、当学は早い展開(攻撃回数)と期待値の高い3ポイントを主体としたチーム作りを試みた。これは時代を先取る大きな挑戦でもあったが、見事に奏効。まさに「進取の精神」による成果と言える。来年度は最後の成果を得るべく、更に精進したい。



主将
岩屋 頼
スポーツ科学部
洛南

この4年間は普通の人生では経験できないような事は多かった。2年目に2部降格という絶望を味わい、3年目には1部昇格という翌年への希望を味わった。そして最終学年では「リーグ優勝」「インカレ準優勝」を果たすことができた。早稲田大学がこのような結果を残すことは他の人もそうだが我々自身も想像していなかっただろう。「2番目は誰も覚えていない」などの言葉をよく耳にするが、最終学年での早稲田の快進撃は2番目でも皆さんの頭に残る結果を残せたのではないかと誇りに感じている。これらの経験ができたことをこれまで関わってくれた仲間や支えてくれた方に感謝したい。4年間早稲田大学で学んだことを支えてくれた方々に感謝と共に還元し、社会で活かしていきたい。



主務
志賀 陽菜
スポーツ科学部
九段中等教育

降格、昇格、優勝。この4年間で全てを経験すると誰が想像したでしょうか。早稲田大学体育会という挑戦や出会いの機会に溢れ、高めあえる仲間に出会えた環境で主務を務められた経験は私の人生の大きな財産となりました。異なる出自を持つ者が集う大学スポーツの難しさと社会人予備軍としての自身の未熟さを痛感する日々でしたが、チームのためにがき続けた時間は私自身を一層深くさせてくれるかけがえのない時間でした。4年間であつた早稲田魂を胸に、今後の人生も精進してまいります。最後に、部活動生活を支えていただきました競技スポーツセンターの皆様、ありがとうございます。今後の早稲田スポーツの更なるご発展を祈念いたします。



女子部監督
大西 真由

入学当初から振り返れば、それぞれの道を選んだ仲間もいました。そんな中、4年間最後まで共に歩み続けた皆さんはかけがえのない絆で結ばれていると思います。プレイヤーが5名、スタッフが4名と、チームに大きな力を与えてくれました。リーグ戦でなかなか思うようにはいかず勝てなくて苦しんだ時も、仲間を信じ、自分達を信じて前に進み続け、1部残留を懸けた入替戦では圧勝。その勢いのままインカレではベスト4という結果を残し、決して簡単ではないシーズンの中で最終日までこのチームで戦い抜いた姿を誇りに思います。仲間を大切に、次のステージでの活躍も期待しています。ご卒業おめでとうございます。



女子部主将
望月 綾乃
スポーツ科学部
実践学園

早稲田大学で過ごした4年間は、多くの出会いと貴重な経験に恵まれた時間でした。偉大な先輩方の背中から自身の未熟さを学び成長し、頼もしい先輩に支えられながら、一人では決して立つことのできなかった全国トップレベルの舞台を経験することができました。そして最後まで同期と手を取り合い、4年間を走り抜けることができたことも大きな財産です。特に4年目には、入れ替え戦からインカレ最終日までを経験し、非常に濃密な一年となりました。ここで得た学びを糧に、今後も邁進していきたいと思っています。



女子部主務
爲田 珠莉
人間科学部
共立女子

私のバスケットボール部の4年間は、苦しいことや悔しいこともありましたが、それ以上に愛おしくて尊い時間でした。個性豊かな同期やチームメイトと、日本一という大きな目標を掲げて、一生懸命走り続けた4年間は何にも変え難いものです。結果として日本一という目標は達成できませんでしたが、チームのために自分のできることを模索し続け、多くのことを学びました。いつも支えてくださるOB・OGの方々、コーチ・スタッフの皆様、大学関係者の方々、そして家族のおかげで、素晴らしい環境のもと部活動を行えました。心から感謝申し上げます。早稲田大学での学びと感謝の気持ちを胸に刻み、新たなステージでも日々精進して参ります。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

◇第74回関東大学バスケットボール選手権大会

(4月30日~5月4日)

第7位

- ▷明星大学(○78-70)
- ▷筑波大学(○93-77)
- ▷日本体育大学(●79-91)
- ▷中央大学(●66-71)
- ▷青山学院大学(○111-77)

◇第83回早慶バスケットボール定期戦

(5月31日)

優勝

- ▷慶應義塾大学(○89-67)

◇第65回関東大学バスケットボール新人戦

(6月4日~8日)

第6位

- ▷法政大学(○87-74)
- ▷帝京平成大学(○75-74)
- ▷中央大学(●70-77)
- ▷山梨学院大学(○76-63)
- ▷専修大学(●72-76)

◇第3回全日本大学バスケットボール新人戦

(7月8日~9日)

グループリーグ敗退

- ▷関西大学(○77-62)
- ▷日本経済大学(●62-85)

◇第101回関東大学バスケットボールリーグ戦

(8月27日~11月2日)

優勝

- ▷白鷲大学(○92-74)
- ▷日本体育大学(●91-97)
- ▷中央大学(○89-84)
- ▷神奈川大学(○86-59)
- ▷大東文化大学(○84-77)
- ▷東海大学(○99-85)
- ▷青山学院大学(○100-70)
- ▷明治大学(○89-67)
- ▷筑波大学(○84-77)
- ▷専修大学(○101-85)
- ▷日本大学(○108-75)
- ▷白鷲大学(○83-80)
- ▷中央大学(○89-84)
- ▷神奈川大学(●71-76)
- ▷日本体育大学(○93-70)
- ▷筑波大学(○87-75)
- ▷大東文化大学(○78-63)
- ▷青山学院大学(○94-92)
- ▷東海大学(○110-90)
- ▷明治大学(○113-109)
- ▷専修大学(○78-54)
- ▷日本大学(○101-81)

◇第77回全日本大学バスケットボール選手権大会

(12月4日~14日)

準優勝

- ▷神奈川大学(○83-72)
- ▷日本大学(○96-87)
- ▷日本経済大学(○92-83)
- ▷白鷲大学(●83-101)

(女子)

◇第59回関東大学女子バスケットボール選手権大会

(4月29日~5月4日)

5位

- ▷3回戦:関東学院大(○99-55)
- ▷4回戦:江戸川大(○79-58)
- ▷準々決勝:山梨学院大(●61-86)
- ▷順位決定戦:松蔭大(○84-50)
- ▷5位決定戦:拓殖大(○95-88)

◇第15回関東大学女子バスケットボール新人戦

(5月25日~6月8日)

6位

- ▷3回戦:武蔵丘短期大(○106-60)
- ▷4回戦:青山学院大(○106-49)
- ▷準々決勝:白鷲大(●51-76)
- ▷順位決定戦:拓殖大(○83-76)
- ▷5位決定戦:立教大(●71-81)

◇第83回早慶バスケットボール定期戦

(5月31日)

優勝 (○99-63)

◇第3回全日本大学バスケットボール新人戦

(7月5日~8日)

出場(予選リーグ敗退)

- ▷予選リーグ:関西学院大学(●60-70)
- ▷予選リーグ:北陸大学(○75-74)

◇第75回関東大学女子バスケットボールリーグ戦

(8月30日~10月26日)

第7位

- ▷拓殖大(●79-93)
- ▷筑波大(●69-85)
- ▷白鷲大(●79-84)
- ▷東京医療保健大(●72-87)
- ▷専修大(○70-64)
- ▷山梨学院大(●70-73)
- ▷日本体育大(●61-76)
- ▷拓殖大(●73-75)
- ▷筑波大(●67-85)
- ▷白鷲大(●73-80)
- ▷東京医療保健大(●74-93)
- ▷専修大(○79-60)
- ▷山梨学院大(○83-80)
- ▷日本体育大(●66-73)
- ▷松蔭大(○101-59)

◇第43回東京六大学女子バスケットボール対抗戦

(11月8日~11月16日)

優勝

- ▷法政大(○71-54)
- ▷慶應大(○96-51)
- ▷明治大(○84-57)
- ▷東京大(○134-25)
- ▷立教大(○74-61)